

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校

学校だより

令和4年

7月20日 文責:平松紀子



◆明日から、夏休みです。

今年度は、まだまだ続くコロナ禍の中で始まりました。しかし、新型コロナ対策を行いながら、入学式、遠足、運動会、宿泊体験学習、PTA総会など1学期の活動を順調に行うことができました。先日終えたばかりの水泳の授業。自由時間には、子供たちの嬉々として水遊びをする様子に、自然と私も笑顔になっていました。そして、“ああ無事に1学期を終わることができてよかったなあ”と思いました。



保護者の皆様、地域の皆様には、いつも御支援、御協力を賜り誠にありがとうございました。



○終業式では、次のことを話しました。

- 1 おうちの方や地域の方に「明るく」「いつでも、どこでも」「きっと自分から」「伝わるように、続けて」挨拶をしましょう。⇒ オアシス運動の励行
- 2 何事も「コツコツ」と取り組むことが大切

お手伝いや勉強、読書、運動など何かを毎日コツコツと続けてほしい。きっと不思議なことが起こると思います。

3 時間を大切にする

42日間という夏休みですが、あっという間に過ぎてしまいます。ボーっと過ごすのではなく、「今日は何をしよう、あれやろう。」と楽しいことを考え、一瞬一瞬を大切にしてお過ごししてほしいと思います。たくさんの思い出を作してほしいと思います。



○夏休みは、気を付けながら「外遊び」を

昨年度、3時ごろから校区内巡視をしていても、公園で遊んでいる子供をあまり見かけませんでした。海で泳ぐこともあまりないようです。今の子供たちは、あまり外で遊んでいないのでしょうか。

少年写真新聞社の小学保健ニュースで、大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授 津川尚子先生は、「子供の外遊びは、運動能力や知的能力、社会性、創造性を育み、健康増進においても大きな意義がある」とおっしゃっています。外遊びが、骨を強くすること、日光浴によって皮膚で生産されるビタミンDが骨の形成を助けることも話されています。子供たちを取り巻く状況が昔と違うことや日焼けのこと、新型コロナ感染症のこと、熱中症のことなど心配なことはあると思いますが、気を付けながら、夏休みは、室内だけでなく外遊びで健康な強い骨・体を作してほしいと思います。



◆税金のはなし…租税教室で学んだこと

6年生の社会の授業では、「国民としての権利及び義務」において税金について理解する学習があります。今年度は、平戸法人会の株式会社スエオカ 長谷 学 さんより税金についてのお話をさせていただきました。クイズがあったり DVD を見たりしながら分かりやすく楽しく、そして考えさせられる授業となりました。また、将来、自分たちも仕事につき税金を払うことも意識するようになりキャリア教育にもつながりました。でも一番子供たちが目をキラキラさせていたのは、ジュラルミンケースに入った一億円を見るときだったようです。



○税金がなかったら、町中はゴミだらけになり事故も起きやすくなる。亡くなる人が多くなることも分かった。無料だったものが、有料になり、借金が多くなる人も出てくる。税金があるからこそ、世界が豊かになると分かった。
6年

○ぼくたちが通っている学校にも税金が使われていることにびっくりした。税金がなかったら、みんなが喜ぶどころか、みんなが困っていたので、改めて税金が大切なんだなあと感じた。
6年

○税金によってみんなの暮らしや生活がまかなわれていることが分かってよかった。もしも、税金がなくなったらみんなが困ることや税金の大切さについて学ぶことができ本当に良かった。
6年

◆表彰◆

第17回平戸市少年の主張大会

優良賞 「ぼくが思う平和」 6年



◆1学期のベストブック賞

学級の中で、多く本を読んだり、多くの種類の本を読んだりした人たちです。おめでとう！！



【お知らせ】

- 8月9日（火）は登校日です。平和学習があります。 21日は登校日ではありません。
- 学校閉庁日は、8月10日（水）～15日（金）です。
- 2学期の授業参観は、9月9日（金）です。
- 事故やけが、入院などの場合や新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触となったりした場合などは、御連絡いただきますようお願いいたします。 TEL 学校 22-9242